

施設名	社会教育センター			指定管理者の名称	株式会社 山武	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
①業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事の施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
②類似施設の管理実績	平成 21 年 3 月 31 日現在 東京都北区滝野川体育館他 26 施設					
③経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	[単位：百万円]	
	平成 18 年度	67,640	53,489	14,151		
	平成 19 年度	71,441	54,176	17,265		
	平成 20 年度	68,965	53,056	15,908		
<b>2. 施設の概要</b>						
①所在地	台東区東上野 6-16-8 上野小学校と併設					
②設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教養の向上に助力する。					
③利用者	・社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。 ・教育委員会や社会教育館が行う事業に参加する区民。 ・その他一般団体。					
④開館日・開館時間	火曜日から日曜日及び第 2・4 月曜日 9:00～22:00、第 1・3・5 月曜日 13:00～21:00 休館日：祝日（元旦除く）9:00～22:00、年末年始（12/28～1/4） 20 年度開館日数：353 日					
⑤規模	ホール 130 人 会議室 40 人 調理室 32 人 和室 20 人 温水プール 25m×15m（7 コース）					
⑥人員体制	週 40 時間勤務 13 人 週 30 時間勤務 3 人 （清島温水プールを含む）					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
①委託事業	1. 区民の生涯学習・社会教育活動への施設の提供 2. 生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 3. 施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 4. 生涯学習ラーニングスクエアの実施					
②自主事業	12 講座実施 20 回 延参加人数：298 人 社会教育センターまつり 延参加人数：479 人					
<b>4. 施設の稼働状況等</b>						
	利用件数	利用人数	利用率			
平成 18 年度	1,670 件	29,420 人	40.0%			
平成 19 年度	1,970 件	31,312 人	47.6%			
平成 20 年度	2,119 件	35,591 人	51.2%			
<b>5. 予算決算の推移</b> (単位：円)						
年 度		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	委 託 料		86,426,000	88,106,000	84,400,000	75,222,000
	料金収入等		2,500,000	2,900,000	2,500,000	2,450,000
	管理経費		88,926,000	91,006,000	86,900,000	77,672,000
決 算	委 託 料		86,040,044	87,604,880	84,089,880	
	料金収入等		2,300,895	2,417,005	2,348,870	
	管理経費		86,076,627	83,415,534	86,437,870	
	収 支		2,264,312	6,606,351	0	

6. 指標					
指標名称	単位	目標値 (22年度)	19年度	20年度	21年度 9月現在
利用率	%	50.0	47.6	51.2	48.6
利用件数	件	2,300	1,970	2,119	1,041
7. 評価項目					
3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 ー：評価対象外項目					
評価の観点	評価項目				
①事業の運営 平均 [2.4]	(1)施設の目的達成 [2] (2)サービス水準 [2] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [3]	(6)開館時間等の遵守 [3] (7)自主事業の成果 [3] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [3] (10)警備・防犯体制 [2]			
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]			
③利用者の満足度 平均 [2.4]	(1)利用者・第三者機関の評価 [2] (2)苦情・要望への対応と報告 [3] (3)利用者数の目標達成 [3]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [2]			
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [2] (4)利用料等の徴収・管理 [2]			
8. 評価					
A+ (優良)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準をおおむね満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。					
評価の観点	評価	説明			
①事業の運営	A+	今まではほぼ社会教育センターで行っていた自主事業を各教育館に分けて実施することにより、各館の認知度を高め利用率向上につなげるなど、センター施設としての機能を果たしている。			
②施設の維持管理	A	区からの申し出に対する対応は良く行われており、省エネにも努力している。施設の維持管理においても少しではあるが、自主的に対応できるようになってきている。			
③利用者の満足度	A+	利用者からの評価はおおむね良好であり、利用率も前年度から約4ポイント向上している。今後も利用者のさらなる増加と拡大に努めていく。			
④歳入歳出	A	歳出については適正に行われており、歳入は事業計画上の目標にかなり近づいているため、引き続き歳入確保の努力を行っていく。			
⑤総合評価	A+	指定管理者として4年目を迎え、各会議室等の利用率は徐々に伸びており、ホールの利用率にいたっては80%を超えた。今後も利用率を上げるために、自主事業や広報活動の更なる工夫に取り組んでいく。			
9. 課題への対応等					
指定管理者として引き続き3年間管理運営を行うことになったが、利用率を上げるために広報活動を積極的に取り組み、各教育館と連携をとり自主事業の充実とサービス面でのさらなる向上に努力する。					